

4. 教育段階別の日本語教育の状況

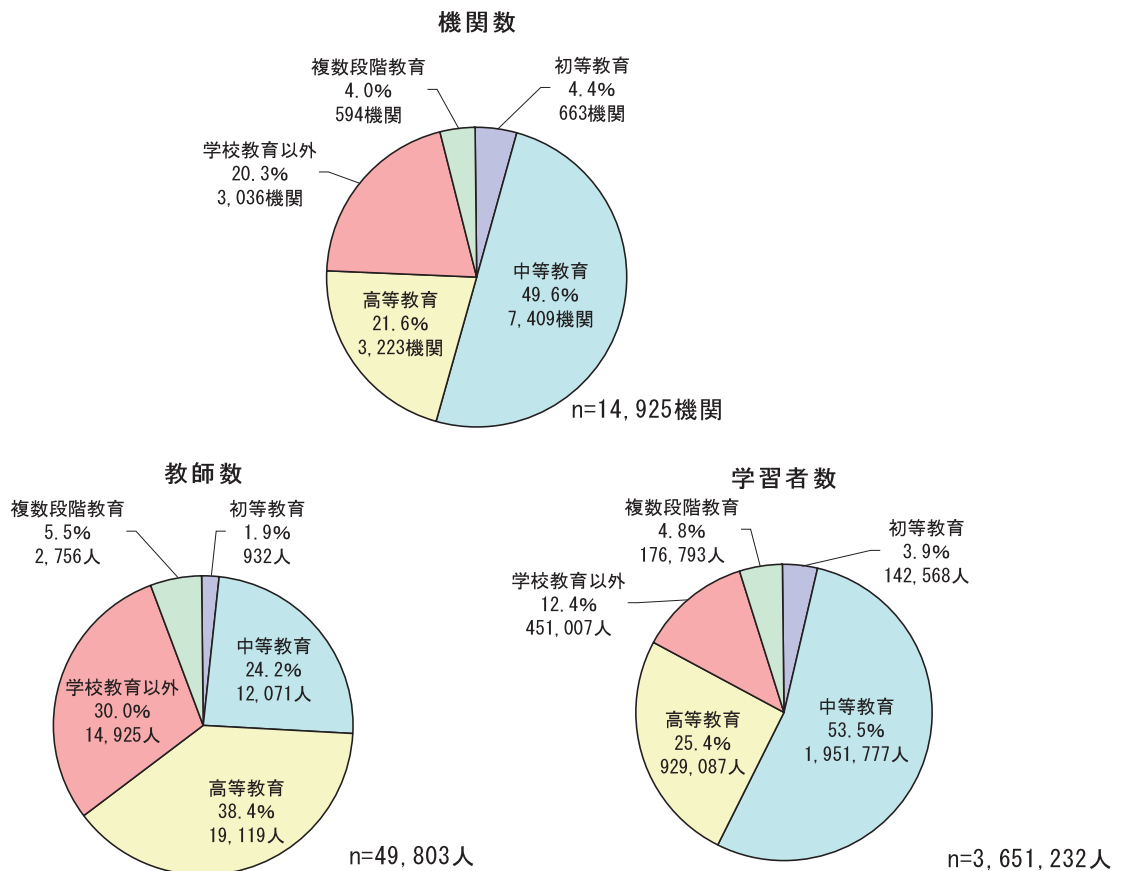
学習者数は中等教育が最も多く、195万人で世界全体の学習者数の過半数を占める。機関数も中等教育が最も多いが、教師数は高等教育が最も多い。

2009年調査では、「初等教育」、「中等教育」、「高等教育」、「学校教育以外」の4つの教育段階に分類して、それぞれに実施の有無と学習者数を確認している。さらに教育段階別の分析においては、「初等教育と中等教育」、「中等教育と学校教育以外」など、複数の教育段階を選択している機関について「複数段階教育」として分析している。

機関数では「中等教育」が49.6%と全体の半分近くを占める7,409機関となっている。次いで「高等教育」が21.6%の3,223機関となっている。

学習者数でも「中等教育」が最も多く53.5%を占める1,951,777人となっている。しかし教師数では「高等教育」が38.4%の19,119人と最も多く、次いで「学校教育以外」が30.0%の14,925人となっている。(グラフ3 教育段階別機関数・教師数・学習者数の割合)

グラフ3 教育段階別機関数・教師数・学習者数の割合



※ <台湾>の(財)交流協会の調査の数値を含む。